

さわやか

精神障害者支援の会 ヒット

理事長 吳光現
住所 大阪市天王寺区上汐4の5の11吉祥苑マンション101
電話 06(6773)0418
ファクス 06(6773)0418
URL <http://www.npo-hit.or.jp/>



当事者の支え合い重視

“語り部”として 子どもと交流も

まだ芦田さんは子もへの「心の教育」の必要性を強調。思春期は心の病にかかりやすい時期でもある。心の病やその対処法について「教育が十分ではない」と指摘し、「語り部がその一助になれば」と思いを込める。

全国の精神障害者は三百三人と、四十人に一人は精神の病気にかかる計算だ。本来、国レベルで解決が求められる障害者の社会参画推進問題。地域での挑戦は継続いく。

力を「社会復帰」から「社会貢献」にまで高め、就労支援につながる事業に取り組んでいる。研修を受けた当事者が学校などに「語り部」として出向き、自身の病の経験をもとに今的生活の様子を語っていく。

芦田邦子事務局長(五二)は語り部事業を「精神障

害者への偏見をなくすための理解促進事業」と位から障害の実態について学ぶことで「正確な知識を持つてもらいたい」者へとえだ。一方で、当事者は生きがいを感じ、語り部の報酬が支払われる」とで就労機会にもつながる。

まだ芦田さんは子もへの「心の教育」の必要性を強調。思春期は心の病にかかりやすい時期でもある。心の病やその対処法について「教育が十分ではない」と指摘し、「語り部がその一助になれば」と思いを込める。

全国の精神障害者は三百三人と、四十人に一人は精神の病気にかかるている計算だ。本来、国レベルで解決が求められる障害者の社会参画推進問題。地域での挑戦は継続いく。

吉田さんは子どもの「心の教育」の必要を強調。思春期は心にかかりやすい時期である。心の病やその他の「教育ではない」と指摘し、心部がその一助にならないことをいふ。